

ごあいさつ

皆様には、日頃より、愛知県信用農業協同組合連合会（愛称「JA愛知信連」）に格別のお引き立てを賜り、厚くお礼申し上げます。

本年も皆様に当会の経営方針、業務内容、令和2年度の業績等をご紹介するために、本冊子を作成いたしました。ご一読いただき、当会に対するご理解を一層深めていただければ幸いに存じます。

当会は、昭和23年の設立以来、農業専門金融機関・地域金融機関として、県下のJAが食の安全と安心を地域の皆様にお届けすることを金融面からサポートするとともに、利用者の皆様の生活向上に資する幅広い金融サービスを提供することにより、地域農業の発展と豊かな地域社会の創造に取り組んでまいりました。

さて日本経済は、年度当初、新型コロナの感染拡大によって景気が急速に底入れした中で、秋口にかけて緩やかに持ち直す様相を見せたものの、その後の感染再拡大を受けて再び景気が減速に転じる等、新型コロナの収束動向に応じて一進一退する不安定な経済環境となっています。

また、金融業界におきましては、少子高齢化・人口減少の進展に伴うリテール市場の縮小や、超低金利環境が長期化する中、コロナ禍での不良債権の増加等も重なる厳しい収益環境が続いていることから、各金融機関は、非金利収入を軸とする新たな収益源の確保や、組織・業務の合理化・効率化とコロナ禍に対応したデジタルイノベーションの強化を進展させました。

更に、JA系統組織におきましては、令和3年4月に改正農協法施行後5年を迎えた中で、今後も、組合員・利用者目線でその負託に応え続けていくために、自主自律の組織として、不断の自己改革を推し進めていくことが重要となっています。

当会は、こうした情勢認識を踏まえ、策定しました中期計画（令和2年度～令和4年度）に基づき、県下JAの自己改革の取組みを十全にサポートするとともに、県下JA系統信用事業（通称「JAバンクあいち」）における農業専門・地域金融機関としての金融サービスの提供と収益モデルの再構築に向け、役職員が一丸となり「JAバンクあいち」の発展に努めてまいります。

皆様におかれましては、本冊子等を通じて当会に対するご理解を深めていただきますとともに、より一層のご指導・ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

令和3年7月

経営管理委員会会長 石黒 秀一

代表理事理事長 太田 亮介



代表理事理事長
太田 亮介

経営管理委員会会長
石黒 秀一